

学校だより



平成27年度 第6号

下野市立南河内中学校
発行者 日下田 英彦
H27. 5. 20

5月も後半になりました。台風が来たり、夏を思わせるような日が続いたり不安定な天候ですが、今後は1年生の宿泊学習をはじめ、各種行事が続きます。体調管理に気を付けて、頑張りたいものです。ご家庭でも、お子さんの生活習慣の定着にご協力ください。まず、「早寝、早起き、朝ご飯」、そして「返事、あいさつ、家庭学習」が毎日のものとなると思います。

また、先週は父親委員会の皆様のご協力があり、校内の環境整備が進みました。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、30日（土）のPTA奉仕作業でも大変お世話になります。よろしくお願いします。

今回の学校だよりでは、今後の確認も含めて、各種行事についてお知らせいたします。

1 1年生宿泊学習

来週の5月25日（月）26日（火）の2日間、1年生の宿泊学習が行われます。2日間ではありますが、学校から離れ、自然のあふれる環境の中で、集団で生活することにより、教室では体験できない経験を積むことができます。一緒に生活することで、生徒同士、生徒と教員の信頼関係を深めることができます。登山やオリエンテーリングを行ったり、集団生活の決まりや社会生活のルールを生活のなかで体験したりすることで、お子さんの成長した姿が見られると思います。

事前の準備、体調の管理、約束事の確認等各ご家庭でもご指導ください。

2 春季栃木県大会

6月5日（金）より、各地区大会を勝ち抜いた学校により春季栃木県大会が行われます。期日、会場の予定を掲載いたします。お忙しいと思いますが、可能な方はぜひ応援ください。

6月5日（金）剣道部男子団体、女子個人
会場 栃木市総合体育館

6月6日（土）剣道部男子個人
会場 栃木市総合体育館

ソフトテニス部男子個人
会場 県総合運動公園テニスコート

ソフトテニス部女子個人
会場 県総合運動公園テニスコート

バドミントン部男女個人
会場 県南体育館

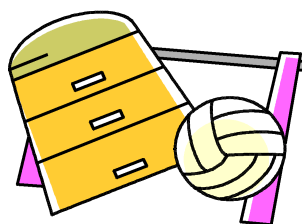
3 教育実習生の紹介

6月8日（月）～26日（金）までの3週間、教育実習生として本校の卒業生の慶野芽以さんが本校で、保健体育科の実習を行います。

教員になるための実習であり、教師として、研修していただきますが、生徒にとってはやさしいお姉さんができることとなります。進路の選択や高校・大学の学習についての経験も話してもらえることと思います。よろしくお願いします。

こんにちは。初めまして。日本女子体育大学から参りました、慶野芽以と申します。保健体育科の授業を中心に実習をさせていただきます。専門はバスケットボールです。南河内中で実習をさせていただけることに、卒業生としてとても嬉しく思っています。

私のこの3週間の目標は「全校生徒、1人1人と話をする事」です。私の持ち味は明るさとパワフルさです！その自分らしさを忘れずに生徒のみなさん1人1人とうちとけられたらなと思います。3週間、一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



4 体育祭

別紙で案内いたしますが、6月13日(土)に体育祭を実施します。(雨天の場合は14日(日)に順延)1年生の学級減により、昨年までの各学年による学級団の対抗ではなく、1年生は2学級をそれぞれ赤組、白組、青組の3色に分ける方式になります。昨年までの方式と異なり、違和感がある方もいるとは思いますが、各色ごとの団結の様子やお子さんの取り組みをご覧ください。

また、くわしいプログラム等については決まり次第お知らせします。

5 1学期中間テスト

6月18日(木)19日(金)の2日間で、各学年5教科の中間テストを行います。1年生にとっては、初めての定期テストになりますが、計画的に学習に取り組む習慣をつけるよいチャンスです。範囲等については、事前に配布しますので、ご家庭でもお子さんに励ましの言葉をかけてあげてください。また2、3年生にとっては、自分の学習の定着の確認のために、さらに3年生にとっては進路選択の上でも大切なテストになります。行事が続きますので、学校でも学習計画について指導していきます。

6 職員の復帰及び退職について

病氣療養のため、休職していました、本校公仕、猪瀬政子が5月25日(月)より復帰いたします。復帰に伴い、今までお世話になった公仕、蓬田由紀子が退職になります。保護者の皆様には紙面での連絡になりますが、今後もよろしくお願いします。また、蓬田さんには花壇の世話やゴミの管理など、校舎内外の環境美化のために大変お世話になりました。ありがとうございました。

7 全校朝会から

先日、全校朝会がありました。生徒の能力を高め、脳を活性化させる講話として次の内容を行いました。脳を活性化させるには3つのコツがあります。

- 1 「気がつく」……まずは自分で、いろいろなことに気がつくことが大切です。
- 2 「ヒントをもらう」……自分では気がつかないことを、教えてもらうのではなく「やりかた、考え方」を先生にアドバイスしてもらう。
- 3 「助け合う」……友達からできた事を教えてもらい、そこからまた気付いていく。

Q 1 1文字で「き」と読む漢字をたくさん書こう。

音読みでも訓読みでも可です。

- ・「気がつく」……「木」、「気」、「記」、「聞」…
自分の力だけでは5～10個ぐらいでした。
- ・「ヒントをもらう」……慶留間芳基(けるまよしき)君に聞きました。「芳基」の「基」
馬場祐希(ばばゆうき)君「祐希」の「希」……
吹奏楽部の生徒に「がっきは？」…「楽器」、そして「学期」
多くの生徒が10個以上書けました。
- ・「助け合う」……友達と見せ合うと「来、記、旗、喜、規、機、貴、器…」
友達の書いたものから気がつくこともあり、多い生徒は20
個以上、30個を超える生徒もいました。

漢字も、覚えるために書くだけでは飽きてしまいますが、先生からヒントをもらったり友達と助け合うことで、どんどん気がつき、知らず知らず脳も活性化していきます。実は学校の授業も同じです。教えるのではなく、自分で学習するヒントを出しています。

Q 2 「ッ」(さんずい)の付く漢字も、やってみました。

ここには書きませんが、40個を超える生徒もできました。保護者の皆さんもぜひ挑戦し、お子さんに答えを聞いてみてください。生徒の感想を紹介します。

- ・すごく楽しかったです。「あ～、それがあったか」というのがたくさんあったので、脳が活性化したかな?(笑)
- ・あまり書けなかったけれど、周りの人と協力したら倍以上書くことができました。面白くて、時間が早く感じました。
- ・友達と助け合うことでたくさん漢字を書くことができました。友達と助け合うことはとても大切だと気がつきました。
- ・1人でやると思いつかなかったけれど、他の人とやるとたくさん思いついたりしたので、びっくりしました。漢字を思い出したときはとてもスッキリしました。